

2025年08月号

かわら版

Vol.22

なりかわ
成川まさゆき
市政報告

〒938-0014 黒部市榑木 107-7
TEL&FAX (0765) 57-1189
携帯 090-1317-7155
Mail: masa.narikawa@gmail.com

黒部を未来へつなく



< ご挨拶 >

みなさん、こんにちは。昨年12月に黒部市議会議長を拝命してから、早くも半年が経ちました。この間、議長としての日々の職務に全力で取り組んでまいりました。議長の立場上、議会で一般質問を行うことはできませんが、政策実現に向けた活動はこれまでと変わらず続けております。議長に就任してから、黒部市教育長、富山県厚生部長、KUROBE アクアフェアリーズ富山の監督、そして8月には地鉄の問題について、議員研修の場を設けて、議会としての知識向上を目指し、議員としても議長としての職務の合間を縫って、市内外を奔走し、課題解決に向け取り組んでいます。今回は、この「市政報告かわら版」を通じて、私の活動の一端をご報告させていただきます。



「黒部を未来へつなく」
黒部市議会議員 成川まさゆき

市政報告レポート①人口減少時代の地域活性化を考える

人口減少時代の地域活性化を考える地域連携の現状と課題

人口減少が加速する現代において、これまで各自治体が個別に取り組んできた地域活性化策は、その効果に限界が見え始めており、単独での解決が困難な状況にあります。



【課題】

- ・連携意識の不足：過去の経緯や競争意識により、自治体間の協力が進みにくい状況です。
- ・調整の負担：合意形成や役割分担に手間がかかり、事業の遅れの原因となっています。
- ・短期偏重：単年度の成果を重視し、中長期的な視点が欠けがちです。
- ・成果の不透明さ：効果の見える化が不十分で、継続的な取り組みに繋がりにくい現状です。
- ・行政主導の限界：行政中心では住民や民間の主体性を引き出しにくく、ボトムアップの仕組みが必要です。

成川まさゆきの取り組み

このような地域連携の現状と課題を深く認識し、黒部市議会議員として私が取り組んでいるのが、「広域連携による人口減少社会の克服」です。私は、単なる挨拶に留まらず、具体的な課題解決と未来創造を見据えた戦略的な連携を推進しています。

この取り組みは、単発で終わらせるのではなく、それぞれが有機的に連携し、相乗効果を生み出すことを目指しています。各連携から得られる成果を明確にし、情報発信を強化することで、「黒部宇奈月温泉駅で下車したら何があるのか」を明確に伝え、「名水と豊かな自然に抱かれ、先端技術と多様な人々が共生する、持続可能で魅力的な『スマート・グリーンライフ拠点』としての黒部」の未来を創造していきます。



1. 温泉駅連携による観光促進

黒部宇奈月・加賀・あわらの3つの温泉駅が連携し、周遊ルートや観光バスの開発を検討。外国人観光客の誘致と滞在型観光を促進します。

2. 新幹線停車本数の増加要望

糸魚川・上越と連携し、新幹線の利便性向上を目指します。アクセス改善により観光や移住促進にもつながります。

3. マラソン連携による関係人口創出

青楓マラソンと連携を強化。ノウハウの共有で大会の質を高め、継続的な人のつながりを地域の力に変えます。

4. イベントカレンダーの共有

近隣自治体と開催日程を調整し、集客の分散を防止。広域での情報発信により地域全体の魅力を高めています。



4月4日
青楓市長表敬訪問



5月15日
加賀市議会議長表敬訪問



6月18日
糸魚川市長表敬訪問

これからも現場の声を活かし、黒部の未来を見据えた広域連携を推進してまいります。

なりかわ 黒部を未来へつなく
成川まさゆき

黒部市議会議員
facebookで活動公開中!



市政報告レポート②私たちの足「富山地方鉄道」の未来を考える

富山地铁の現状と課題

富山地方鉄道は、立山黒部アルペンルートや宇奈月温泉へのアクセスを担う重要な交通インフラですが、6期連続の赤字と厳しい経営が続いています。少子高齢化やマイカー利用の増加で利用者が減少し、特に郊外区間や上市駅でのスイッチバックによる時間ロスが課題となっています。



黒部市と地域の連携

この現状を受け、富山県・地铁・沿線自治体で「鉄道線のあり方検討会」が設置され、黒部市も上市～宇奈月温泉間の運行調査に参加。5つの運行形態について比較検討し、秋には中間報告が予定されています。同時に、バス路線の見直しも含めた公共交通全体の最適化も進められています。



成川まさゆきの取り組み

私は「市民置き去りの議論にしない」ことを大切に、「鉄道を活かしたまち黒部」と題した市民勉強会を昨年から開催。今年も5回以上を予定し、市民の声を反映した議論の場をつくっています。

また、6月定例会で調査費が可決されたことを受け、3市1町の議員勉強会を私から他市町議に働きかけ、8月20日に開催が決定。沿線全体で理解を深め、共に未来を考える貴重な機会となります。



市政報告レポート③若者支援若者支援で地域の未来をつくる

① 課題：人口減少を食い止めるための若者支援



黒部市をはじめ多くの地方都市では、進学や就職を機に若者が流出し、そのまま戻らないという人口減少が深刻な課題となっています。これを食い止めるには、若者にとって黒部市が「夢を描ける」「暮らし続けたい」場所になる必要があります。

② 成川まさゆきの取り組み：自ら動き出す若者を育てる仕掛けづくり

私はこれまで、若者が地域に関わり、主体的に動ける環境づくりに取り組んできました。たとえば、地方にいても夢を追い続けられる「アイドルプロジェクト」や高校生が参加する「子ども食堂」を支援してきました。



【アイドルプロジェクト】

地方にいても夢を追い続けられる活動の場

【こども食堂での高校生ボランティア】

世代を越えた交流と社会参加の経験の場。



子ども食堂



こうした活動を通じ、若者の「自分にもできる」という自己効力感や、黒部への愛着、仲間と協力する楽しさが育まれています。私は今後も、若者が「黒部で挑戦したい」と思えるような土台を整え、地域の担い手として育っていけるよう全力で取り組んでまいります。

全戸P久野事例を参考に
中高生の拠点を創ってきたい！



成川まさゆきの情報発信

facebook 日々の活動記録を配信 主に stand.fm を配信 ともに犬と花の写真しています。

stand.fm

黒部市の今や議員活動、地域づくり活動など日々の活動を毎日音声配信しています。

「なりかわチャンネル」
好評配信中!!



私の声を聞いてください

皆様のご意見をお気軽に
是非、お寄せください！

